



活動に役立つ書籍を紹介「お役立ち本」

仙台を、もっと知る・触れる・聞く・見つける

サポセンでは、地域で活動する人たちが制作した資料をアーカイブしたり、図書として貸し出ししたりしています。少しニッチでそれぞれの人の個性際立つ視点や偏愛、伝えずにはいられない思い、多彩な表現が詰まった資料から、仙台の様々な側面に触れてみませんか。

図書の貸出方法は
こちらから▶



「お気に入りの場所」を見つける

SENDAI MIYAGI The Architecture Map

発行・発売元：Local Places



県内の建築家や研究者で構成される団体Local Placesが発行した建築ガイド本です。全国的に有名な「せんだいメディアテーク」や、震災後に建てられた地域のシンボル、JR女川駅など様々な建築物が紹介されています。本書の特徴は建築に限らず、広瀬川や錦町公園、いろは横丁といった市民目線のお気に入りの場所も掲載されていること。あなたも本書を片手にまちを散策して「お気に入りの場所」を見つけてみませんか。

ジャズ文化が花開いた街の
歴史と発展を知る

仙台ジャズ物語 楽都仙台と日本のジャズ史

著者：岡本勝壽 イラスト：山浦多久二 発行：金港堂



仙台市は「楽都仙台」を掲げ、市民とともに豊かな音楽文化を醸成してきました。中でも1991年から毎年、市民有志が街中でジャズフェスティバルを開催し続けるなど、独自のジャズ文化が根付く街です。本書は、仙台市在住の岡本勝壽さんが、仙台の音楽文化を支えた演奏家、ジャズ喫茶店主、レコード店従事者などに光を当て紹介。ジャズ文化と仙台の発展の関わりを、50年間収集した資料とエピソードを交えながら、ジャズ愛溢れる視点で考察しています。

仙台で暮らす外国人の声を聞く

仙台ネパールZINE

制作：仙台市中心部を考える勉強会Bグループ
・大山 宗之(未満建築デザインファーム)
・佐々木 佳(文のみち草)
表紙デザイン：RIKUTO YOSHIDA



仙台市ホームページによると、令和6年4月30日現在、仙台市には2,553人のネパール人が暮らしています。本書には仙台市太白区向山にあるネパール食料品店の店主で、ネパール人留学生の生活のサポートにも取り組む、ラジェス・クマルさんへのインタビューが掲載されています。ネパール人にとっての仙台の気候のことや、夜間のアルバイトで生活費を稼ぐ苦勞、同郷の人と集うささやかな楽しみなど、様々な声が聞こえてきます。

あの日から、今も、これからも語られる
「声」に触れる

声を掬う

編集：高山智行
発行：HOPE FOR project



かつて約800世帯が暮らした若林区荒浜は、東日本大震災の津波で甚大な被害を受け、今は住むことができません。本書は、2021年から2024年にかけて、荒浜・七郷地区にルーツのある人たちへ行ったインタビューの記録です。発行した「HOPE FOR project」は、同地域の中学校の卒業生らが震災後に立ち上げた団体で、故郷を離れた元住民をはじめ、誰もが荒浜とつながり続けられる場づくりをしています。掬い上げられた声に耳を傾け、故郷を思いながら今を生きる人たちの心情に触れてみませんか。

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 4月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>
[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人
せんだいのみやぎNPOセンター)

発行日 2026年4月1日

デザイン PEACE Inc.

[X]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

